

第2回南砺市総合計画審議会
会 議 録

期 日 平成18年5月19日(金) 午前10時30分から
会 場 南砺市役所福野庁舎 2階講堂
出 席 者

北 田 正 雄	会 長	川 合 声 一	副 会 長
島 田 勝 由	委 員	夏 野 修	委 員
倉 一 雄	委 員	山 崎 正 大	委 員
嶋 信 一	委 員	奥 野 達 夫	委 員
大 西 正 隆	委 員	川 合 友 之	委 員
水 木 猛	委 員	齋 藤 昭 一	委 員
小 林 敏 夫	委 員	藤 井 貢	委 員
米 澤 博 孝	委 員	清 水 壽 一	委 員
山 本 秀 夫	委 員	塚 田 久 俊	委 員
鶴 野 孝 徳	委 員	寺 井 孝 夫	委 員
西 能 孜	委 員	中 藪 淳 一	委 員
渡 邊 久 雄	委 員	永 井 正 夫	委 員
松 本 誠 一	委 員	桜 井 光 雄	委 員
		岩 田 繁 子	委 員
		宮 本 佳 子	委 員

欠 席 者

吉 岡 勉	委 員	池 部 恵 子	委 員
-------	-----	---------	-----

市 当 局

清 都 邦 夫	助 役	山 本 勝 徳	収 入 役
中 山	市 長 政 策 室 長	大 家	総 務 部 長
向 川	民 生 部 長	堀	産 業 経 済 部 長
畑	建 設 部 長	平 本	議 会 事 務 局 長
西 村	医 療 局 長	仲 筋	教 育 次 長
重 原	市 長 政 策 室 次 長		

事 務 局

松 田	企 画 課 長	安 川	企 画 課 主 幹 ・ 企 画 係 長
上 口	企 画 課 企 画 係 副 主 幹	松 田	企 画 課 企 画 係 主 査
池 田	企 画 課 企 画 係 主 任		

市当局 ★司会進行
 ★配布資料の確認
 ★委員交代報告(男女共同参画委員浅田委員→鶴野委員)及び紹介
 ★人事異動による職員紹介

北田会長 挨拶

「みなさんおはようございます。となみ野の山野にも緑がよみがえり、さわやかな新緑の季節を迎えました。2回目の総合計画審議会ということで、ご案内をさせていただいたところ、皆さん方には万障繰り合わせてご出席いただき本当にありがとうございました。ただいま事務局から説明いたしましたとおり機構改革や、3月定例議会、そして人事異動等ともございまして、2回目の会合を開くことが遅れましたことにつきまして、冒頭からお詫びを申し上げておきたいと思っております。今日は基本構想の概略の方向付けが出てきたようでございますので、またいろいろなご意見をいただければと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。」

会長 「それでは早速でございますが、清都助役さんもお列席でございますので、ご挨拶をいただきたいと思っております。」

助役 「みなさんおはようございます。市内の田植えもほとんど一段落したようでございまして、さわやかな新緑の季節に入ったわけでございます。みなさん方にはご多用の中お集まりを頂き厚くお礼申し上げます。組織の関係で新しく鶴野さんが委員にご新任されました。またよろしくお願い申し上げます。私どものほうも今回の4月の異動で一部担当が替わっておりますので、よろしくお願い申し上げます。北田会長からもお話がございましたが、去る1月17日に第1回のこの会合を開催させていただきましたが、基本構想の案的なもの、提案的なものを皆様方にお話し申し上げたと思っております。これはこれからみなさんにご意見を頂きたいわけですが、国調の結果は8月ぐらいでないとはっきりしないわけですが、人口問題をどう推測するかと、あるいはまた、いわゆる将来構想の表現の仕方、私どももいろいろと、検討しているわけでございますが、委員の皆さん方の意見もいただきたいと思っております。また、基本計画につきましては、私どもは去る5月16日に庁内でいろいろな意見交換もいたしたところでございまして、どういうふうな進め方をしていくかということを中心に、今日はみなさんの資料のなかに多少の例示とございますか、そういうものも示させて頂いたところでございまして、それについても皆さんの意見を頂きたいと思っております。私もいろいろな会合に出させていただきますと、総合計画に対する期待というものは非常に大きいということを実感いたしております。そういう責任感の中で一生懸命努力させていただいておりますが、ぜひみなさん方と一緒にこの計画策定をしっかりと着実に進めさせていただき、南砺市の将来について、みんなで思いをひとつにして地域づくりを進めていただければよいお

願いたします。」

会長 「どうもありがとうございました。議事に入る先に、最初に第1回の審議会の会議録の内容について、情報開示することになっておりますので、その会議録の内容に関して意見と違うということがございましたら、この場でご発言をいただきたいと思います。」

(暫く発言を待つ)

「特に無いようでしたら、確認いただいたということで、結構でしょうか。」

(異議なし)

「それでは早速ではございますが、議事に入らせていただきます。みなさん方のお手元に総合計画の基本構想案について事務局からご説明をいただきます。」

事務局

- ★総合計画基本構想素案（ページ構成のイメージ）について
- ★施策の基本方向（キャッチコピー）について
- ★将来人口について（国勢調査との関係）について
- ★基本計画の構成について

会長 「まず、総合計画でございますが、基本構想の概略のものが出てきました。以前のものとはずいぶん趣が違ってくるのかなと思いますが、そうした点をお願いしたいと思います。南砺市がスタートしたときに『自然、文化、交流が織りなす創造とやすらぎの南砺市』というキャッチフレーズでスタートしたんですが、名前が少々長いのではないかという話もあるようでございます。もっと簡潔にすればよいとか、これくらいはぜひ必要であるというようなご意見があれば、旧の町村のことも参考にしながら、聞かせていただければと思います。」

委員 「たしかに長いなと思います。視覚に伝える短いフレーズのほうがいいような気がいたします。例えば『緑と文化のかがやく南砺市』。『輝く』をひらがなにすると非常に『やまとことば』できれいですね。今日のように新緑がもう輝く、あるいは文化、伝統芸能、信仰、心の世界、世界遺産まで含めてみんな輝いているという、そういう日本人の肌ざわりのいい、気持ちのいい言葉が『かがやく』なんです。ですから漢字で『緑』、それと『文化』というキーワードで全部ひっくるめたら『緑と文化 かがやく南砺市』というのはいかがでしょうか。」

会長 「キャッチフレーズでございますので、気楽にご意見があればお聞かせいただければと思います。これらを含めまして当局で十分議論していただいて、次回は2つか3つのメニューから、みんなでもた選ばせていただければと思います。」

委員 「結論的には私は違うかもしれませんが、35市町村のキャッチコピーを拝見して、ぱっとみて、あ、これ〇〇だなとか、そのイメージ、目指す都市のイメージがわかる。他のところは都市の名前を抜かすと、どこのまちかわからない。南砺市だなと地元の人でも当然思えるし、富山県内のほかの地域の方々も、南砺だなと思うような、キャッチフレーズに出来ないものだろうかと思えます。」

会長 「非常に端的に南砺市を表現できればどうか、というご意見もあります。そうした点も含めて、2つか3つに、英知を絞っていただければと思います。」

委員 「今ほどの提案の形で素直でいいと私は感じたんですが、事前にご案内と一緒にお知らせをいただければいろんなアイデアが出たかもしれませんが、『自然、文化、交流が織りなす・・・』すばらしいんじゃないかと思いますので、緑もあれば紅葉もあるかもしれません。いろんなことがありますので、このまま素直なほうでいいんじゃないかと私は思います。」

委員 「一人ひとり個人的に感覚が違うので、いろんなことを思いますが、我々日本人というのは漢字で育っています。そしてカタカナ、ひらがなで情緒を育ててきたわけです。だから『かな』がいい、『漢字』がいいというのは、やっぱりいろいろ場合によって違うわけですよ。でも一番端的にわかりいいのは、文字から受けるイメージは我々日本人ですから、『漢字』のほうが本当は端的にわかりやすいわけです。読み取るときは、『かな』の方が情緒があるわけです。だからキャッチフレーズの場合は、『漢字』のほうがわかりやすいかなと。それとこの所が端的にわかるとおっしゃいますが、例えば『散居、散居村』といたしますと、我々はこの辺だと思っていたわけなんです、富山の向こうにもあり、これは受け取る人によって場所が違うんですよ。」

会長 「やはり新しい南砺市のスタートとなる基本構想でございますので、ご意見をいただきながら、最終的にみんなで決めさせていただきたいと思っております。また総合計画の中に人口の問題が出てきております。8月以降にならないと国勢調査の最終結果がでてこないようございまして、やはり将来構想でございますので、きちんとした基本構想がないと次のステップへ進めないのではないかと思います。施策の大綱が14ページ、15ページですか、最終ページに書いてあるわけでございますが、基本計画についての説明をして下さい。」

事務局 **★基本計画およびその策定に関する事務の進め方について**
★南砺ベンチマーク（指標）について

会長 「施策の大綱に見られるとおり、施策の目標として『美しい住みよいまち』『創造的で元気なまち』『開かれたふれあいのまち』3つのタイトルの下にいろいろと各部門ごとのつながりがずっと書いてあるわけでございますが、この中のひとつとして、今、別表で出しております。いろんなこうしたものがずっと繋がってそうした方向づけが、細部に決まっていくというようにお聞きしたわけでございますが、市がめざす新しい基本構想、こうした案に対してご意見があれば、お聞かせいただければありがたいなと思います。」

委員 「今の基本計画の策定についての進め方につきましては、少しは理解しているわけでございますが、なにぶんにも『新市合併まちづくり計画』にあまりぶれることなく取り組んでいかなければならないかなと思うわけですが、市長が前に申されておりますように、職員全体で取り組んでいくんだという言葉も受けて

おりますので、今後現実に個々の職員が、どういうふうに関与なさっていかれようとしているのか、現段階でお答えいただければと思います。」

会長 「いずれにしても、基本計画、現在各部署ごとに綿密に積み上げておられる最中だろうと思いますが、お答えをいただければと思います。」

事務局 「先ほどの規程のなかでもありましたとおり、策定委員長の助役を中心に、ここにおります各部署局長が、7つの柱それぞれにおいて担当します。例えば『自然にやさしい住みよいまちづくり』のなかで、今日お示ししましたレイアウトの参考例の『自然環境の保全』ということを考えれば、なんか公害の担当課だけがというように思われがちかもしれませんが、この右端の表の中に、環境保全室とか、それから散居景観の保全ということであれば農村整備課、河川ということになりますと、土木の河川の職員も当然このなかにかかわってくるということで、必ずしも公害担当の職員だけじゃなく、この1枚を検討するにも15名くらいの課を超えた横断的な組織で検討しております。」

会長 「基本構想のざっくりばらんなものをお出ししておりますが、まず、こういうスタイルで最終的に基本構想を作り上げたいと言うことが1つ、8月以降の国勢調査を見ないと将来の人口構想が、しっかりとした基本が出来ないという問題が1つございます。基本計画の原案の案を作っている最中でございますので、具体的なものがまだ見えてきておりませんが、そうした方向付けで総合計画を最終的に積み上げたいなというということでございますが、いかがでしょうか。」

委員 「最近のこういう計画というのは数値目標を入れるというのが非常にたいへん大切なことだということで、数値目標を挙げてあるということですが、最終的にはこの上の1枚の紙しかでないとなると、例えばこの例に挙がっているBODをどのくらいにすると書いてあるけど、この数値がいったいどういう意味なのかよくわからない。現状のところには数値は入らないようなので、この形だと、果たしてそれが大変なことなのか、簡単に出来ることなのか、それからどれくらい数字の意味があるのか、というのがよくわからない。入力シートのほうを見ると現状の数値は入っているし、目標数値もあるんです。それから理由もあるんですが、例えばそのBODを何ポイントにするのかというのは、一般的な基準と比べて、高いのか低いのか、南砺というのはものすごくレベルの高いものをめざしているのか、いや人並みのことをやっているのか、それとも遅れていて、なんとか人並みになりたいと思っているのか、そういう何か少なくとも入力シートにはあったらいいと思うし、出すほうの紙ももうちょっと説明しないと、せっかく数値は出るんだけど、どういう意味がよくわからないというふうにならないか心配しております。それから今の説明の中で事業メニューの表のところですが、一番右の協働体制・事業主体には、市民やNPOと市の課の各課の名前が同列に書いてあるわけですが、少し字体を変えないと、市民とNPOとなんとか課がやっていると。市民とNPOと多分、市役所なんですね。そのなかの担当課が、なにになに課とか、なにになに室じゃないかと思うんで、表現を工夫したほうがいいのかなと思いました。」

- 会長 「今の意見について試案がありましたら説明いただきたいと思います。」
- 事務局 「おっしゃるとおりでございますが、ただ職員が取り組む入力シートについては、現況とかそういった数値は入れていきたいと思います。レイアウトのほうでは目標値、グラフなど、まだこれから考えなければならないところが多々あるので、またご意見をいただければと思います。」
- 会長 「例えば、この最後のほうに不法投棄の回収量が書いてございます。平成28年までに不法投棄の回収量を年間〇トンまでに削減するというように書いてありますが、私から言えば不法投棄はゼロにするんだと、こんな数値目標があるのかなという感じもいたしますが。」
- 委員 「おっしゃるとおりで、今申し上げようと思っていたんですが、前のページのほうでは不法投棄の防止・PRの取組、それから市民のニーズで不法投棄のパトロールを徹底する、と書いておきながら最後に28年まで10年間で不法投棄ごみの回収量を年間何トンにまで削減する。これでは何トンまでなら不法投棄してもよいというような感じがします。これはお書きになるのは二律背反のような感じがするので、抜いてもらうか、ゼロにしないとちょっとおかしい。」
- 会長 「いろいろと各部門について、まだまだこんなところがあるかなというように思います。市民とNPO、各課の関係は、なにかこの辺は整理できるのかな。」
- 事務局 「確かにおっしゃるとおりでございますが、今、レイアウトの基本例ということで、それらを含めて、不法投棄をゼロにするというのはもちろんでございますので、職員が検討しながら、こういったイメージで仕上げていくという1つのたたき台ということで、見ていただければありがたいなと思います。この担当する表現方法、NPOなどが入ってきたりという表現方法も、これは工夫する余地が十分あるかと思えます。今、全職員にまずこういうシートから作ってかかろうと、作業を始めております。ある程度の雛形を示していかないと、我々も取り組みにくいなという部分がございますので、委員さんの中にもこんなイメージだな、というような意識付けをしていただければ、それでありたいというふうに考えております。」
- 会長 「基本計画のスタイルとしては、こういうスタイルにしたいという当局の提案でございます。たくさんの方々の目にふれるというように思いますので、できるだけ見やすいスタイルで進めたいと思いますが。」
- 委員 「私さっきから感じておったんですけれども、ある程度時間をかけないとだめだろうと思うけど、少しは具体的なものがあってもいいし、いくらかの数字もあってもいいと思う。階段上るんだとか、階段を下りるんだとかいう方向が少しでもわからないとだめなんですね。やはりそれぞれに字を読んでの判断をする、その人ひとに個人差が相当あるものだから、プラスの人とマイナスの人とある

ものだから、非常に難しいんじゃないかな。」

会長 「12月の議会までには、結論を出させていただきたいと思っておりますので、原案を出しますので。」

委員 「前半の部分のこういうすっきりした簡潔な表現は私大賛成です。もう1つ欲を言えば、南砺市の匂いみたいなものがちょっと欲しいんですね。言葉だけじゃなくて、ワンポイントでいいですから南砺市の市民が“そうだ”と共感するような写真ぐらいを時々入れてもらったりして、もうちょっと南砺市の構想であるというものをイメージできる配慮も、ひとつ製作の過程でしていただければ味のある、共感の得られるものになると思います。まあ、デザイン処理かもしれませんが、目で訴えるということも大事なような気がいたします。」

会長 「貴重なご意見でありますので、ありがとうございました。」

委員 「全体的にはこうしたプランがどうしても抽象的になろうとするのはやむをえないことだと思いますが、例えば、現状と課題という中から将来構想を見つめることが一番大きなポイントじゃないかと思います。10カ年なら10カ年という大きな行程の中から、そういったことがどっちかといえば市民の方の関心が非常に高いんじゃないか。例えば、先般意識調査されました。いわゆる市民アンケートですが、高齢者とか障害者が安心して暮らせるがトップになっております。これはどういったことなのか、もっと大事なことがトップになっても不思議でないと思ったのですが、こういう福祉の部門がトップになるということは、市民の方々の意識がどの方向に来ているのかなと、考えさせられるところが私としてはあります。全体のこの方針・事業については概ねこういうパターンのものだろうと思っています。各論的には、それぞれプロの職員の方がおられますから、いろんな肉付けをしていただく、もっと突っ込んで言えば、私たちが分科会を作ってそのいくつかの部門で具体的にやり取りをしていくとすれば、わたしは30名もいるんですから、やはりそういう出されたものが、いささかなりとも反映できることもあるんじゃないかなということが、気になることです。やはりこういう集まり、第2回としては、それぞれ市民の方に市の広報あるいはまた、テレビなんかで放送されます、情報提供されましようが、やはり表面的なことしかわからないことが多いと思います。我々は各部門から来ておりますので、各部門でこういう経過で、こういう動きがあつて、こういう話のやりとりだったぞと、議会は議会で一生懸命にそういうことを煮詰めていただくわけですが、そういう方向の活かされたものが繋がらないことには、ただ私たちが忙しいなか集まって、ただ話を聞いて、はあ、そうだったかなということ、終わっては非常に寂しい感じが私はします。何かそういう方法で肉付け出来るものがあれば、まあ、あと何回か大事な話の場があるかもしれませんが、そういうことで突っ込んでいただければありがたいなと思います。」

会長 「女性の意見もお聞かせいただければと思いますが、こんなところが難しい、フォーマットをこうしていただければいいなというご意見があれば、お聞かせい

ただきたいと思います。」

委員 「カラーになれば、また感じも変わると思います。またそういうことによって、よりわかりやすくなるような気がします。」

委員 「これは10カ年計画としてあがるわけですから、10年後にどういう数字にするという数字が具体的にあがっていますが、これはいろんな状況で変わってくる可能性が非常に大きいと思うんです。まあ、実施する段階においては3年くらいでローテーションをかけながらやっていくということであると思いますが、その中での数字はいいと思いますが、ここで10年後の数字を今から決めておくと、状況が変わってくれば毎回総合計画を変更しなければならないことになってくるんじゃないかな、という懸念があるわけですが、その辺の考え方がもしあれば聞かせていただきたいと思います。」

会長 「まあ、計画期間がそうしたことも含めて前期後期に丸を付けられたのかなというふうに思いますけど、事務局、お答えいただきたいと思います。」

事務局 「いまほどの数値的なことについてはかなり難しいわけですが、その取扱いについては、これもひとつの政策指標といいますか、行政評価といいますか、そういう部分では、かつてはただ単に体育館を増やせばそれでいい、今では単なる施設を増やすよりも、例えば、スポーツ人口は今現在住民の何パーセントまで来てるか、というような部分の評価もあるわけです。まだいろんな部分でいろんな指標のとり方があると思いますが、それに近づいているな、まだ遠いなという部分で、わかりやすい施策の数値、これを見つけていくのも我々の仕事であると思います。先ほどから質問いただいています1つのスタイルでございますけども、文章もそうですけども、なるべく写真を撮るにしても10年後の南砺市を物語っているような、こんなイメージになったらいいなというような部分にも配慮しながら、誰にも見ていただける、一緒に取り組んでいただけるというスタイルを決めていきたい。職員がそういう心積もりで取り組んでいきたいと思っております。」

会長 「いずれにいたしましても、道路網であるとか、福祉の関係、市民交流の関係などある程度出てくると、もう少し具体的な話になるのかなと思います。」

委員 「今日いただきました6ページ、現状と課題でございますけれども、先ほどから問題になっております、南砺市自体の『自然、文化、交流が織りなす創造とやすらぎの南砺市』大きなキャッチフレーズを持ちながらこの現状と課題につきましては、自然についてはまったく現状についてはふれてありませんし、文化、交流についても明確でないような気がするわけです。例えば立地環境には伝統工芸や世界遺産等、香り高い歴史や文化といった、それぞれの地域にすばらしい、大事にしてこれからやっていかなければいけない地域の特性があるはずなんです。そういったことを盛り込まなければ、キャッチフレーズとリンクしないんじゃないか、というふうに思ったことが1つと、今後の課題ですが、課題

はやはり明確にしなければいけないと思いますが、この課題の取り上げ方についても、これでいいのかどうか再検討していただければと思います。おそらく現状と課題は1つのサンプルとしてお出しになったのだらうと思いますが、かといって現状と課題をだらだらと書くのも、また問題かと思いますが、もう一回再吟味していただければいいのではないかなと考えております。」

委員 「基本計画の入力シートですね、これを見ながら非常にいろいろな角度から分析しながら基本計画を作られるということで、非常にいいアイデアじゃないかなと思うわけです。目標数値についてでも目標設定の事由が示されているわけがありますし、細かなものを文章の中で表すということになると、非常に長たらくなって見にくくなるということでございますので、今ご提案になってございますレイアウト、私は非常にわかりやすくいい提案じゃないかなと思うわけでございます。その中身は入力シートをしっかりと担当が作ったものをみんなで検討しながら、基本計画を作られるということだらうと思いますので、ご提案なさっていらっしゃることはすばらしいことだと思います。」

会長 「全体のものですべて出ておりませんので、なかなかこの場所でどうこう言われることもできにくいのかなと思いますが、次回までには基本計画の原案のようなものが総合的に出てくるというふうに思っておりますので、今日はこんなスタイルで基本計画を作るよと、作らしていただきたいなということを、一応ご了解いただいたということで終わらせていただきたいというふうに思いますが、いかがでしょうか。そのほか総合計画の策定委員会の設置規程がでておりますが、これについて何か説明が必要なら、説明をいただきたいと思います。」

事務局 「職員はこういう流れの中で進めていっておりますという内部の規定でございます。こういう基本構想を受けての基本計画ならびにこれから実施計画という作業に入っていくわけですが、こういった組織の中で我々が動いて仕事をしていくということでございますので、参考ということで出しております。」

会長 「何回も申し上げますが、今日ありましたご意見等を踏まえながら次回には基本計画の原案のようなものを提示したいということでございますので、そうしたことでご理解をいただければというように思います。特に今日の協議事項以外のこと、ご意見があったらしばらくの時間でございますが、お聞き取りいただきたいなと思いますがいかがでしょうか。特にないようですが、当局から次回の予定なり、皆様方にお繋ぎしたいことがあれば、お繋ぎをしておいていただきたいなというふうに思います。」

事務局 「いろいろと貴重なご意見ありがとうございました。次回の予定ということでございますが、本日、基本計画のスタイルについて、こういったイメージでよろうという部分でございますので、今後それを受けまして、このシート作り、それから案の案でございますが、今日は1枚しかお示ししておりませんがある程度整った段階で随時お示ししていきたいと、あるいはまた基本構想なり、それからキャッチ等についても、またそれらについてもあわせてご検討いただ

くということになるかと思えます。7月下旬あたりにまたご案内申し上げたときには、よろしく願ひしたいというふうに思うわけでございます。」

会長 「できるだけスムーズに将来の方向付けを決めさせていただければありがたい、というふうに思っておりますので、当局につきましても格別の努力をお願い申し上げたいというふうに思います。予定の時間になりました。本当にご多用の中、おそろいでおいでいただきまして、素案の素になるようなものをお出しいたしました。将来の方向付けはこんな格好で総合計画を立てたいということをもまずベースに、今日はお集まりいただいたと思っておりますので、今後ともいろんな方面でまた市政に関わることがたくさんあると思えます。ぜひそうした折にでもまた市政の一端を担ってやっていただいて、そして私達が本当に住んでよかったなという都市にするように、最大限のご尽力をお願いいたしまして、一応、今日の会議をこの辺で閉じさせていただきたいと思えます。ご協力どうもありがとうございました。」

時：午前11時40分